

株主優待

9月末日(決算期末)現在の株主名簿に記載された1单元(100株)以上所有される株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします(12月初旬発送予定)。家庭でつくるように、果実を糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

●所有株式数100株以上

詰め合わせ例※

- いちごジャム(320g)
- ブルーベリージャム(330g)
- オレンジマーマレード(330g)

2,200円相当

※詰め合わせの内容は変更させていただく場合があります。



●所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g)

3,230円相当



KATO
流通を最適ソリューション

<http://www.katosangyo.co.jp/>

加藤産業株式会社

証券コード：9869



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第69期 報告書

平成26年10月1日から平成27年9月30日まで

トップメッセージ	1
長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
ニュース・クローズアップ	7
特集	9
CSRへの取り組み	10
連結財務諸表	11
個別財務諸表	12
会社情報	13
株式情報/株主メモ	14

KATO
加藤産業株式会社

証券コード：9869



JQA-EM4237



トップメッセージ

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第69期における食品流通業界は、国内の雇用情勢及び所得環境が堅調に推移しているものの、日常生活関連消費については生活防衛意識の強さが続いています。さらに、内食化傾向が続く中で企業間競争は一層激化し、人手不足等に伴う物流コストの上昇も加わり、厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした中において加藤産業グループは、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携を取りながら総合力を発揮し、取引先との関係を強化して提案型営業をさらに進めることで、価格以外の価値を提供するとともに、自社ブランド商品の開発・拡充、業務プロセスの見直し等により利益の確保に努めてまいります。

そしてこの度、加藤産業グループが次のステージへ挑戦するために、私たちの社会的使命と事業領域を定めた『グループミッション』を制定いたしました。今後は、私たちの事業活動や取り組みを通して「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月



代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し
生販両層にとって最も価値
ある存在として周囲の人々の
生活を豊かに実らせ 其處に
社会性を有する企業として
永遠の発展を礎きあげる。

私たちのミッション(使命)は、

食の生産の源となる自然の恵みを大切にし、
誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、
季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、育むことで
家族の団らん・人々の絆を強め、健康で健全な生活に貢献するような
「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することです。

長期ビジョン

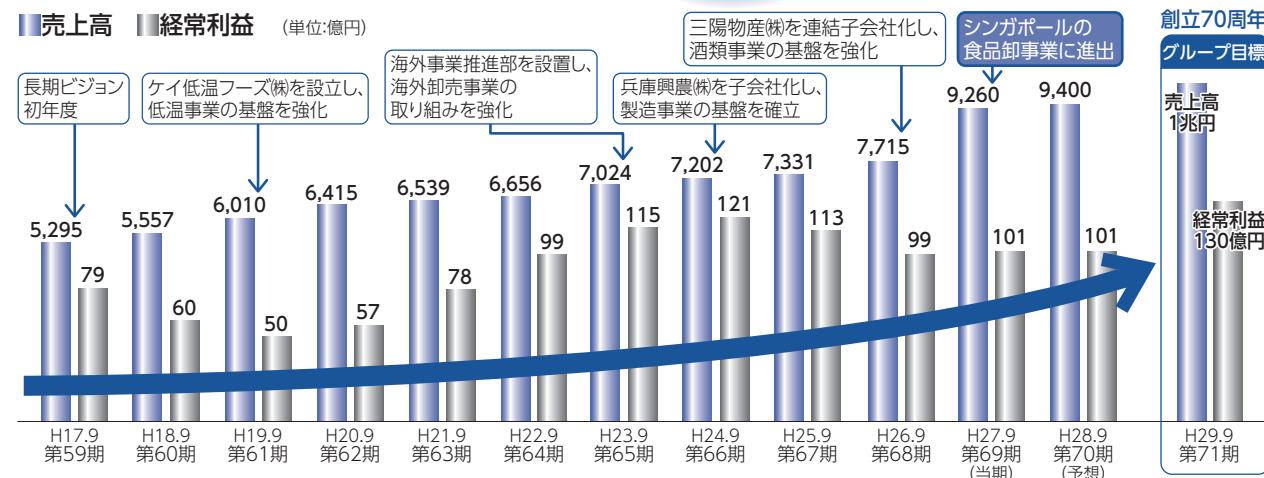
Long-Term Vision

長期ビジョンとその達成のために

私たち加藤産業グループでは、今の時代に最も求められる企業像「強くて優しい会社」の実現を目指し、具体的な施策を盛り込んだ中長期的な戦略を進めています。この計画の一つひとつを確実に遂行することによって、さらに成長し続けます。

グループ目標
長期ビジョン
売上高 **1兆円**
経常利益 **130億円**

創立70周年である平成29年(2017年)に、独立した全国卸売業としての存在感を維持、アピールするための企業規模と収益を確立いたします。また、次代の成長を見据え、一層の機能強化を図る投資を継続する原資確保のため、経常利益130億円の達成を目指します。



KATO 加藤産業グループ

卸売業

- ケイ低温フーズ(株)
- 三陽物産(株)
- ヤタニ酒販(株)
- 九州加藤(株)
- カトー菓子(株)
- エス・エイ・エスジャパン(株)
- カトー酒販(株)
- カトー農産(株)

- 【海外】Naspac Marketing Pte.Ltd.
- Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
- 上海翱杰実業有限公司

物流

- マンナ運輸(株)
- 沖縄ロジスティクス(株)
- カトーロジスティクス(株)

メーカー

- 和歌山産業(株)
- 兵庫興農(株)

外食

- (株)アドバンス・キッチン

その他

- 加藤不動産(株)
- 加藤SCアジアインベストメント(株)

(平成27年9月30日現在)

事業内容

Business Activities



プライベートブランド

Private Brand

消費者や小売店さまの多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っております。

お客さまの買いたい商品を取り揃える商品調達力

(マーチャンダイジング)

Merchandising

総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカーさまと取引をし、幅広い品揃えの商品を小売店さまに卸しております。

適切な時に適切なものを運ぶ物流システム

(ロジスティクス)

Logistics

高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売店さまにお届けしております。

お客さまのニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力(リテールサポート)

Retail Support

消費者のトレンドに基づいて小売店さまの売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしております。



連結決算概要

Consolidated Financial Results

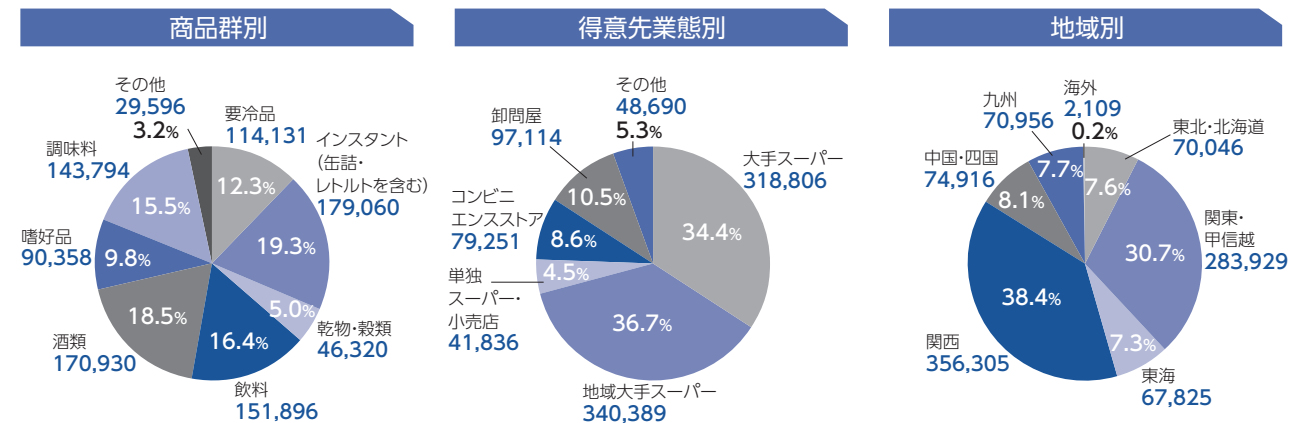
連結売上高 **9,260億90百万円**
 連結経常利益 **101億21百万円**

提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一つひとつ積み重ねることで、卸売業の役割である「つなぎ」を推進するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションによる経営の合理化に努めてまいりました。

	前期	前期比	来期(第70期)予想	前期比
売上高	9,260億90百万円	20.0%増加	9,400億00百万円	1.5%増加
営業利益	89億32百万円	0.6%減少	90億00百万円	0.8%増加
経常利益	101億21百万円	1.2%増加	101億50百万円	0.3%増加
当期純利益	61億78百万円	6.9%増加	61億50百万円	0.5%減少

売上高構成

(単位：百万円)



主要な事業の概況

Segment Review

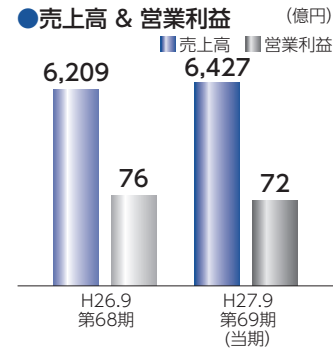
常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

売上高 **6,427億50**百万円

前期比**3.5%**増加 ↗

営業利益 **72億84**百万円

前期比**5.2%**減少 ↘



当社グループの主力事業である常温流通事業は、多様化する消費者の需要に対応すべく、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために提案型営業を推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化し、また、自社ブランド商品の開発及び拡売を図るとともに利益管理を徹底いたしました。物流関連コストの負担等により、増収減益となりました。

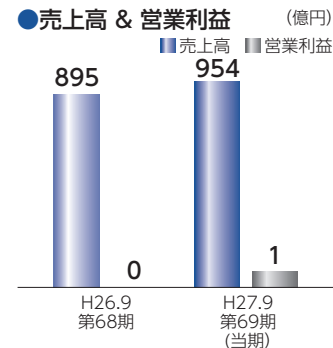
低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

売上高 **954億38**百万円

前期比**6.6%**増加 ↗

営業利益 **1億88**百万円

前期比**166.8%**増加 ↗



低温流通事業は、消費者の生活防衛意識の高まりや人手不足による物流コストの上昇もあり、厳しい事業環境であります。主力となる日配商材等を中心に売上拡大を図るとともに、物流センター運営への取り組み等によるコストの抑制に努めたことにより、増収増益となりました。

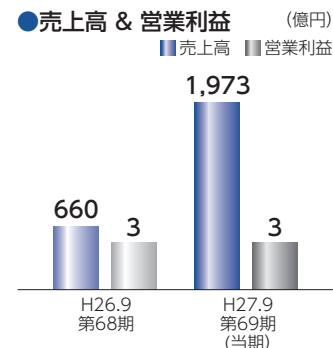
酒類流通事業

売上高 **1,973億99**百万円

前期比**199.0%**増加 ↗

営業利益 **3億73**百万円

前期比**2.2%**増加 ↗

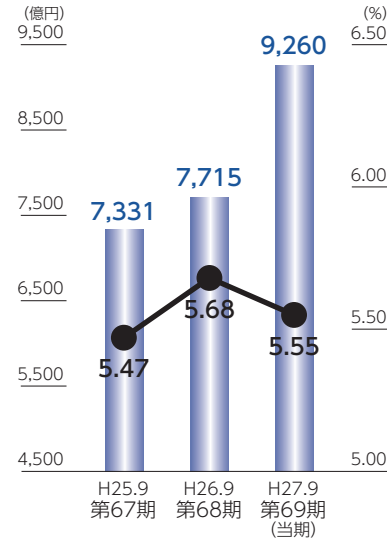


酒類流通事業は、消費規模の縮小及び低価格志向が続いているものの、上級化・上質化商品や健康志向に対応した商品への需要など嗜好の多様化、消費の多極化が一層鮮明になる中で、主要取引先との取組強化を図り、提案力・自販力の強化とローコスト化に取り組んだ結果、三陽物産(株)を連結対象としたことも寄与して、増収増益となりました。

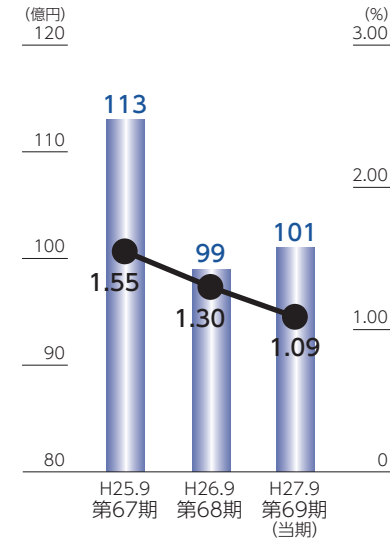
連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

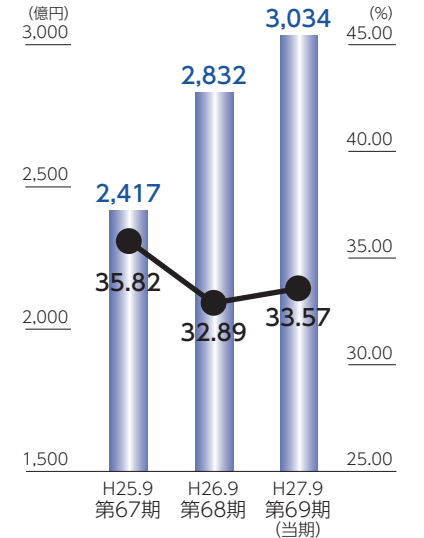
売上高 & 販売管理費率



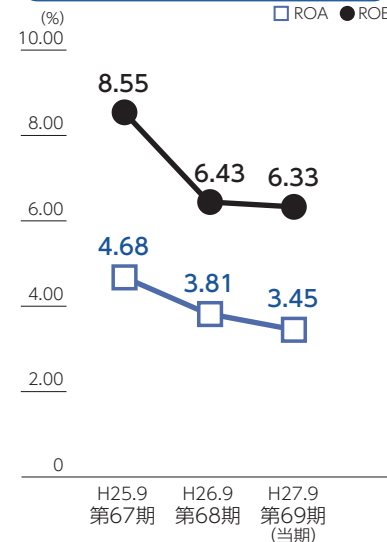
経常利益 & 経常利益率



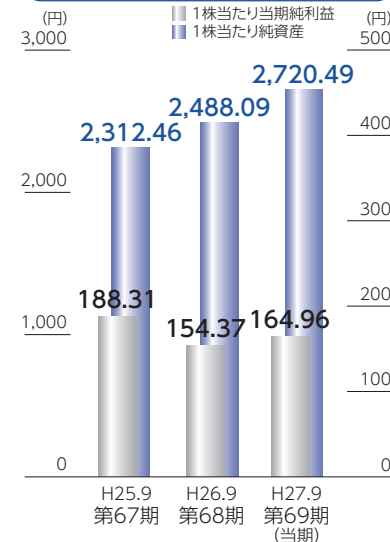
総資産 & 自己資本比率



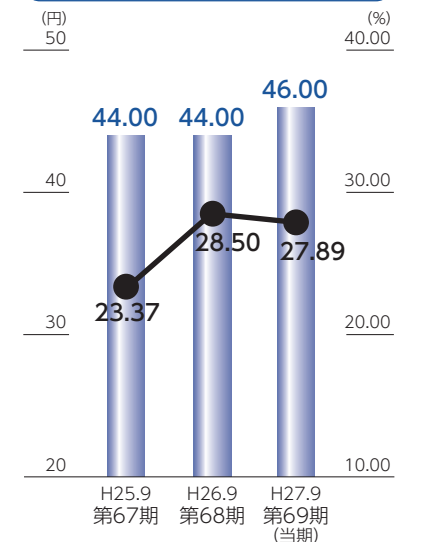
ROA & ROE



1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



1株当たり配当金 & 配当性向



※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

ブランド展開

●西宮なでしこプロジェクト

近年、女性の社会進出が進み、女性が活躍する機会が増えてきました。そのような中、当社では、女性だけのメンバー構成による商品開発チーム「西宮なでしこプロジェクト」を発足し、女性目線、消費者視点で今までにない商品開発に取り組んでおります。

プロジェクトでは女性を取り巻く環境とニーズを捉え、コンセプトを「忙しくて、よくばりな女性に」、シリーズ名を「よくばりDeli」とし、2014年11月に第一弾として「PASTA HARUSAME～パスタはるさめ～」を発売いたしました。

そして、2015年8月に第二弾として「茶わん蒸しの素」と「ケランチム*の素」を発売。どちらも卵1個と混ぜ合わせ、電子レンジで温めるだけで、食卓を彩る“もう一品”が簡単に出来あがり。おなかに優しい一品なので、食欲のない時や夜食などにもおすすめです。

「西宮なでしこプロジェクト」では、今後も女性ならではの商品開発に取り組んでまいります。

※ケランチムとは、韓国語で「ケラン(卵)」「チム(蒸す)」という意味であり、溶き卵とだしを合わせ、人参やネギなどを加えて、直火でふんわりと蒸し煮した韓国の家庭料理です。



第二弾



茶わん蒸しの素



ケランチムの素

第一弾



バジル香る
完熟トマトソース



ベーコンとマッシュルーム
のレモンクリーム



4種類の根菜入り
和風ポロネーゼ

グループ力の強化

●菓子卸売事業の譲り受け

当社は、2015年12月に(株)植嶋の菓子卸売事業を譲り受けました。これにより、菓子カテゴリーの拡充に向けての事業基盤を確立し、グループ各社との協業をより進めて卸売機能の充実とサービスの向上に取り組み、豊かな食生活の実現のために流通全体の最適化を目指し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

【会社の概要】

社名：株式会社植嶋
本社所在地：奈良県生駒郡斑鳩町龍田2丁目2番11号
代表者：代表取締役社長 植嶋 修治
事業内容：菓子及び食品類の販売
資本金：10百万円

復興支援商品のご紹介

●東日本大震災復興支援商品の継続

当社は、2011年3月に発生した東日本大震災で被災された方々を支援するための復興支援商品「カンピーファミリーサイズジャム」を2011年6月から製造・販売してまいりました。

今後も東日本大震災の記憶を風化させることなく、継続した被災地の支援を行いたいとの思いから、復興支援を継続することにいたしました。

被災地のさらなる復興を願い、当商品をご購入いただいたお客さまの気持ちと義援金をお預かりし、被災地の窓口を通じてお届けいたします。これからも被災された皆さまのお役に立てるように全力で取り組んでまいります。

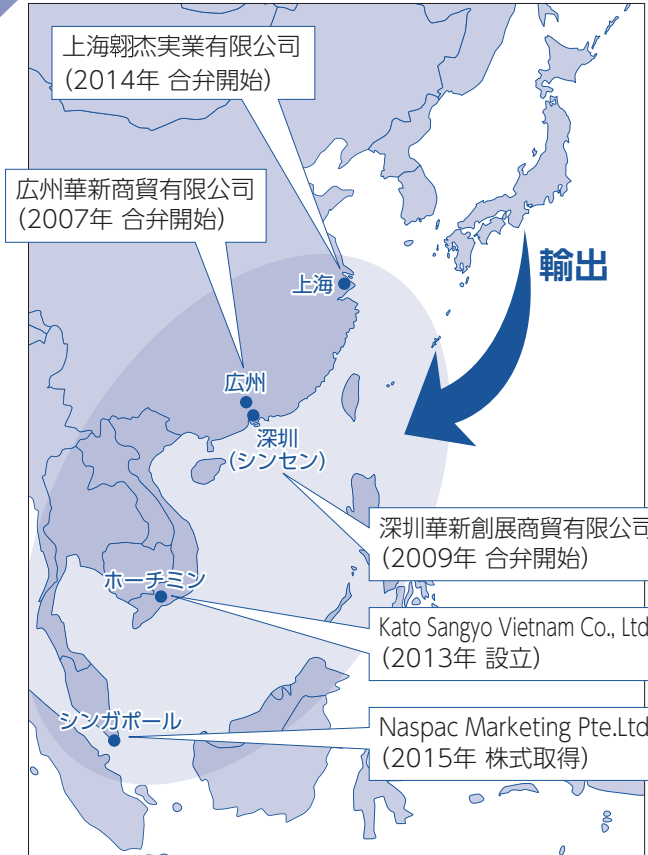
復興支援商品の概要は
ホームページでご覧いただけます。 <http://www.katosangyo.co.jp/news/000299.html>



カンピーファミリーサイズジャム
(1商品あたり、3円の義援金)
2016年9月25日製造分まで

特集

海外事業の展開



当社は、2007年に中国華南地区の食品卸事業に進出して海外事業を開始してから、2013年にベトナム、2014年に中国華東地区、2015年にシンガポールへと、経済成長に伴って消費及び小売マーケットが拡大するアジア地域において事業展開を進めてまいりました。

また、近年では日本からの輸出にも積極的に取り組み、日本を含めたアジア諸国間の食品流通インフラの構築を進めております。

今後は海外事業を当社グループの成長戦略の一つとして位置付け、我々が今まで国内で培ってきた日本式卸のビジネスモデルやノウハウ、ネットワークを活かして事業を拡大してまいります。

【海外事業の取り組み】

- 2007年 中国の食品卸事業に進出 (広州華新商貿有限公司に出資)
- 2009年 深圳華新創展商貿有限公司に出資
- 2011年 海外事業推進部を設置
- 2012年 海外食品卸事業に関する投資会社を設立 (加藤SCアジアインベストメント(株))
- 2013年 ベトナムの食品卸事業に進出 (Kato Sangyo Vietnam Co.,Ltd.を設立)
- 2014年 上海翱杰実業有限公司に出資
- 2015年 シンガポールの食品卸事業に進出 (Naspac Marketing Pte.Ltd.の株式取得)

CSRへの取り組み

Corporate Social Responsibility

当社は、創業以来「強い会社」を目指しています。そして今、「優しい会社」という新たなビジョンを加え、次の成長に向けて着実な一歩を歩んでいます。環境への配慮やISOへの取り組みなども含め、私たちは企業市民として、また食品中間流通業として、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に努めます。私たちは、周囲の人々(ステークホルダー)にとって「強く優しい会社」でありたいと考えています。

環境・社会報告書

毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行し、情報開示を行っています。



●詳細データ等は、ホームページをご覧ください。
<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>

グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的に行っているグリーン活動(事務所周辺地域の清掃活動)を、会社が支援する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATO グリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てています。



この活動は2006年度から開始し、今年で10年を迎え、当社拠点付近の社会福祉法人をはじめ、NPO法人等への支援を継続してまいりました。今後も従業員による地域貢献活動を通して、社会に貢献する企業を目指してまいります。

4,000 ■基金の累計支援金額(単位:万円)



工場見学・環境学習

当社の生産部門である乾物部、上郡工場及びグループ会社の和歌山産業(株)では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さらに、社会学習の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しています。今後も子どもたちに工場見学を通して「食の大切さ」「環境への取り組み」について伝えてまいります。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成27年9月30日現在	前連結会計年度 平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産	200,819	192,012
固定資産	102,659	91,282
有形固定資産	45,055	42,743
無形固定資産	6,525	3,759
投資その他の資産	51,077	44,779
資産合計	303,478	283,295
負債の部		
流動負債	184,589	175,415
固定負債	13,885	12,475
負債合計	198,475	187,891
純資産の部		
株主資本	90,277	85,749
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	76,402	71,872
自己株式	△865	△863
その他の包括利益累計額	11,609	7,436
その他有価証券評価差額金	11,357	6,851
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	187	—
退職給付に係る調整累計額	64	584
少数株主持分	3,116	2,218
純資産合計	105,003	95,404
負債純資産合計	303,478	283,295

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成26年10月1日 至平成27年9月30日	前連結会計年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日
Point 1 売上高	926,090	771,514
売上原価	865,804	718,659
売上総利益	60,285	52,854
販売費及び一般管理費	51,352	43,865
営業利益	8,932	8,989
営業外収益	1,618	1,230
営業外費用	428	222
経常利益	10,121	9,997
特別利益	286	206
特別損失	141	594
税金等調整前当期純利益	10,267	9,609
法人税、住民税及び事業税	3,765	3,273
法人税等調整額	79	453
少数株主損益調整前当期純利益	6,422	5,882
少数株主利益	243	100
Point 2 当期純利益	6,178	5,781

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成26年10月1日 至平成27年9月30日	前連結会計年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	13,569	13,322
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,347	△4,087
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,169	△2,308
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の 増減額	1,052	6,927
現金及び現金同等物の 期首残高	63,069	56,142
現金及び現金同等物の 期末残高	64,122	63,069

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

Point 1 連結損益計算書

●売上高

当連結会計年度より三陽物産(株)の損益を連結対象としたことにより、前期に比べて20.0%増加し、9,260億90百万円となりました。

Point 2 連結損益計算書

●当期純利益

売上高の大幅増による利益確保等により、前期に比べて6.9%増加し、61億78百万円となりました。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 平成27年9月30日現在	前事業年度 平成26年9月30日現在
流動資産	158,818	150,695
固定資産	90,504	79,426
有形固定資産	37,997	37,093
無形固定資産	3,476	3,674
投資その他の資産	49,030	38,658
資産合計	249,323	230,121
流動負債	143,730	134,220
固定負債	10,354	8,867
負債合計	154,084	143,087
純資産合計	95,238	87,033
負債純資産合計	249,323	230,121

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 自平成26年10月1日 至平成27年9月30日	前事業年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日
売上高	626,427	606,993
売上原価	585,753	567,332
売上総利益	40,674	39,660
販売費及び一般管理費	32,788	31,633
営業利益	7,886	8,026
経常利益	8,930	9,051
当期純利益	5,764	5,555

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

会社情報

Corporate Data

会社概要

(平成27年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	昭和22年(1947年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,007名

主要グループ会社

(平成27年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	95,438
◎ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	123,963
◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	67,270
◎ 九州加藤(株)	食品卸売業	5,972
◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	6,041
◎ エス・エイ・エスジャパン(株)	酒類・食品卸売業	6,165
○ カトー酒販(株)	酒類・食品卸売業	1,885
○ カトー農産(株)	農産物卸売業	611
◎ Naspac Marketing Pte.Ltd.	食品卸売業	※ 1,635
○ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	食品卸売業	104
△ 上海翱杰実業有限公司	食品卸売業	※ 708

役員(取締役・監査役)及び執行役員

(平成27年12月18日現在)

代表取締役社長	加藤和弥	監査役	弥谷恵太郎
専務取締役	治居義継	監査役	相良広基
専務取締役	小林隆夫	社外監査役	山村幸治
常務取締役	福島和成	社外監査役	田島鉄郎
常務取締役	木村敏弘		
常務取締役	神月豊	執行役員	打田雅俊
取締役	山中謙一	執行役員	菅公博
取締役	太田尚史	執行役員	小野聡
取締役	中村考直	執行役員	日比啓介
社外取締役	宮井真千子	執行役員	河野均
社外取締役	八十川祐輔		

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
◎ マンナ運輸(株)	運送業	4,851
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	物流業務請負業	14
◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	4,045
◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	4,615
○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,337
○ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	201
◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	219
○ 加藤SCアジアインベストメント(株)	海外事業投資業	—

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社
 ※Naspac Marketing Pte.Ltd.、上海翱杰実業有限公司の売上高は6ヵ月間の数字を表記。

株式情報

Stock Information

株式の状況

(平成27年9月30日現在)

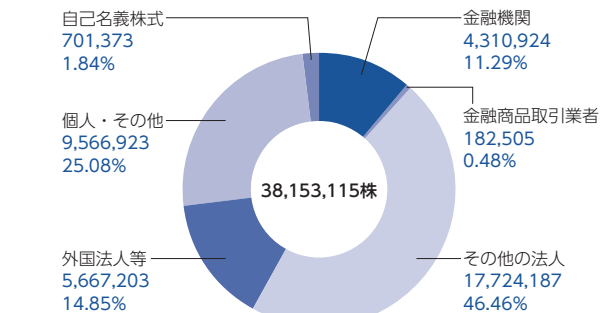
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	8,734名(内、単元株所有者数：8,449名)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	3,270	8.73
三井物産株式会社	3,153	8.41
三菱商事株式会社	1,787	4.77
加藤和弥	935	2.49
株式会社加藤興産	850	2.26
キューピー株式会社	841	2.24
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	806	2.15
カゴメ株式会社	731	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	665	1.77

※持株比率は自己株式(701,373株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



※1単元の株式数=100株

株主メモ

Information for Shareholders

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502
 (お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。